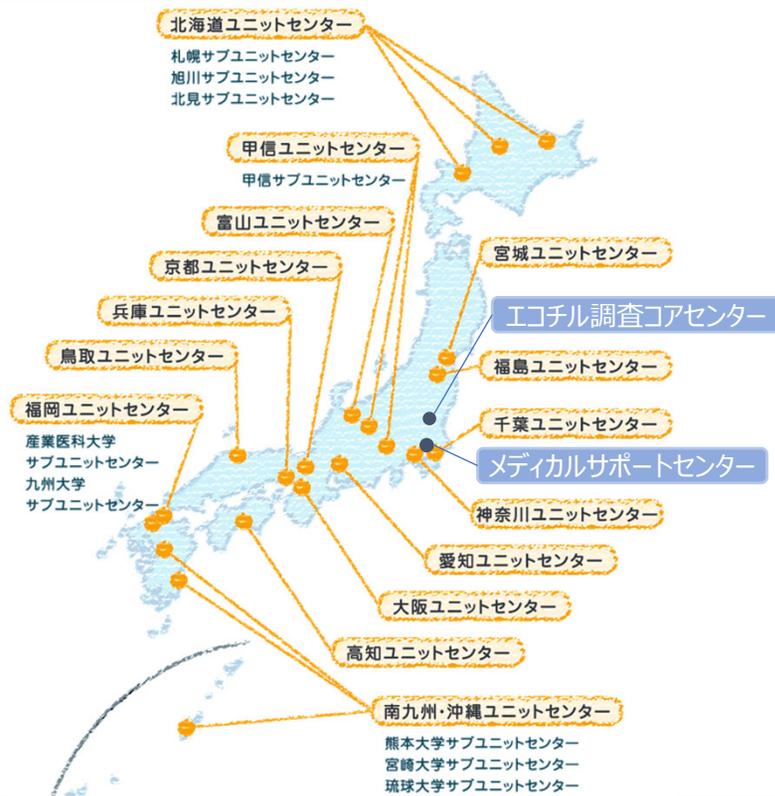


# 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の概要

## 調査の目的・概要

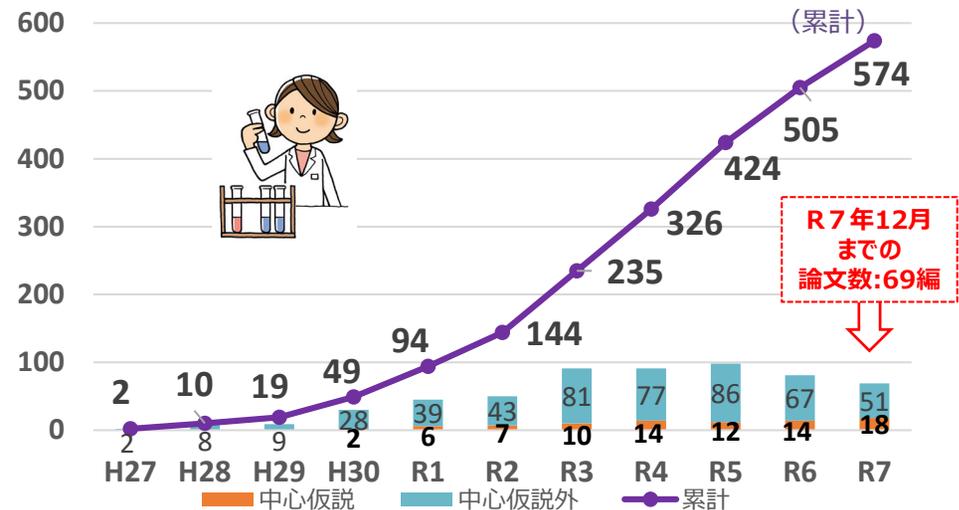
- エコチル調査の目的は、化学物質のばく露等が、胎児期から小児期にわたる子どもの健康にどのような影響を与えているかを明らかにし、リスク管理当局や事業者への情報提供を通じて、適切なリスク管理体制の構築につなげることである。
- 化学物質等の環境要因が健康に与える影響を解明するため、**約10万組の親子を対象としたエコチル調査を平成22(2010)年度から15年以上継続して実施しており、高い参加率を維持。**
- 参加者の血液等の**生体試料(約560万検体)**を採取・保存・分析するとともに、質問票等による追跡調査を実施。
- 開始時に策定した学童期(～12歳)までの基本計画を、**「エコチル調査企画評価委員会」の議論※を踏まえて改定(令和5年3月30日公表)し、13歳以後の調査を継続中。** ※「健康と環境に関する疫学調査検討会」報告書(令和4年3月29日)を受けて議論
- **18歳以降の調査に関して、エコチル調査第3次基本計画案を検討中。**

## エコチル調査実施体制



## 研究成果

- 令和7年12月末時点までの全国データを用いた論文数は**574編(中心仮説は83編)**。
- 妊婦の化学物質等のばく露と、子どもの体格やアレルギー疾患等の健康影響との関連が明らかとなっている。



\* 中心仮説: 胎児期～小児期の化学物質ばく露等の環境要因が、妊娠・生殖、先天性形態異常、精神神経発達、免疫・アレルギー、代謝・内分泌系等に影響を与えているのではないかと推定されている。

成果発表一覧 <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/publications.html>

## 食品安全委員会の評価書、妊婦や子どもの健康に関するガイドライン等の策定に貢献

### ●食品安全委員会 評価書

- 3件：「評価書 鉛（2021年6月）」
- 「評価書 アレルゲンを含む食品(卵)（2021年6月）」
- 「評価書 PFAS（2024年6月）」

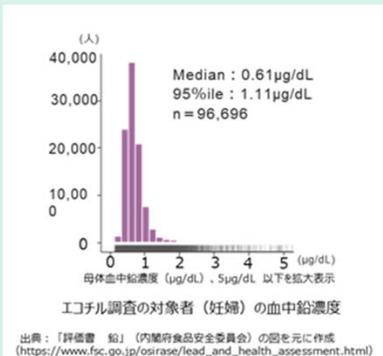
### ●引用の具体例

#### 「評価書 鉛（2021年6月）」

##### Ⅱ.食品健康影響評価 1.ばく露 (2) 血中鉛濃度の概要

・我が国及び諸外国の血中鉛濃度の状況や、現在の我が国の血中鉛濃度の分布について解析結果が記載されている。

Ⅱ.食品健康影響評価 4.ヒトにおける影響 (1) 小児、(2) 成人  
・胎児の成長等への影響に関する研究結果、内分泌系/免疫系への影響に関する研究結果がエビデンスとして引用されている。



#### 「評価書アレルゲンを含む食品(卵)（2021年6月）」

##### Ⅳ.食品健康影響評価 2.有病割合及び自然経過

・母親の卵白特異的 IgE 抗体価の陽性率や、食物アレルギーの有病割合、食物アレルギーの生涯有病割合といった解析結果が記載されている。

2025年11月12日  
令和7年度第1回エコチル調査企画評価委員会  
資料2-1から抜粋

### ●ガイドライン等

- 7件：「産婦人科診療ガイドライン 産科編2023」
- 「小児気管支喘息 治療・管理ガイドライン2023」
- 「ASQ-3乳幼児発達検査スクリーニング質問紙」
- 「食物アレルギー診療ガイドライン2021」
- 「食物アレルギーの診療手引き2020」
- 「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021」
- 「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024」

### ●引用の具体例

#### 「小児気管支喘息 治療・管理ガイドライン」

##### 第3章「疫学、発症の危険因子と一次、二次予防」

- ・日本国内の最新疫学データとして、喘息・喘鳴の有病率や危険因子の解析結果が記載されている。
- ・特に妊娠中の喫煙、住居環境などの環境要因が喘息発症リスクに関連するエビデンスとして引用。

日本小児アレルギー学会作成, 滝沢琢己, 他監修. 協和企画, 2023.

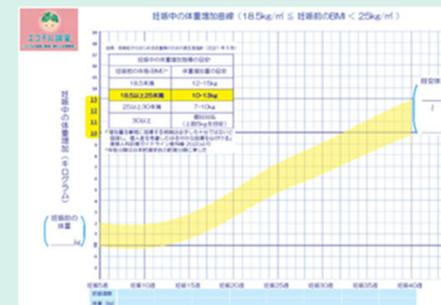


#### 「妊娠中の体重増加曲線（妊娠前BMI別）」 (2021年9月報道発表)」

妊婦（約10万人）の健診情報を用いて妊娠前BMI別に4通り作成

(例) 妊娠前BMI18.5~25

出典：国立成育医療研究センター  
ホームページプレスリリースより  
(2021年9月28日)  
(<https://www.ncchd.go.jp/press/2021/210928.html>)



# 環境省の取組について



# 令和7年度の広報活動（広報戦略指針に基づく活動展開）

## 【エコチル調査の広報活動の目的】

エコチル調査広報活動の目的は以下の3つである。

- **国民への理解促進**：調査対象者や医療機関・研究者に加え、広く国民にエコチル調査の意義を正しく理解してもらうこと。
- **継続参加の意識醸成**：調査参加者が長期にわたる追跡調査に継続して参加できるよう、意識を高めること。
- **調査成果の正確な情報発信**：調査成果を正確かつ分かりやすく発信し、社会に還元すること。

※「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の広報戦略指針（令和5年3月改定）」（エコチル調査戦略広報委員会／参加者コミュニケーション専門委員会）及び同指針に基づく広報戦略を踏まえる。

広報活動	詳細	主な対象	主な該当シーン
イベント	令和7年度「環境省こども霞が関見学デー」への出展	小学生以下の方々とその保護者世代	0、1、3
	第1回エコチル調査全国フォーラムの開催	小・中・高生とその保護者世代、大学生、研究者、企業等	0、1、3
成果の情報発信	ホームページ等による情報提供	広く国民の方々	0、1、3
	論文報道発表の公表	広く国民の方々	0、1
	パンフレット等の配布	広く国民の方々	0、1、3
その他の広報活動等	動画配信（エコチル調査へのメッセージ）	広く国民の方々	0、3
	エコチル調査サポーター制度の運用・メールマガジン配信	広く国民の方々	0、1、3
	エコチル調査SNSの開設・運用	広く国民の方々	0、1、3
	科学館等における展示物（ケミカルパズル等）の活用	小学生以下の方々とその保護者世代	0、3
	外部との連携	関係省庁、学会、研究者等	0、1、3
	リスクコミュニケーション研修	エコチル調査関係者	—
	広報活動の効果測定（新聞、Web等の記事モニタリング、SNS投稿に関する情報収集分析）	広く国民の方々	—

※「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の広報戦略指針（令和5年3月改定）」（広報活動は、5つのシーンの実現を目指して実施し、令和7年度はシーン1とシーン3の目的に注力）

シーン0：参加者に調査への継続的参加を呼び掛け、関係者の協力を得て、調査をともに進めていく

シーン1：論文等にまとめられた研究成果を、その内容に関係している人々や関心がある人に周知していく

シーン2：成果が政策決定やガイドライン・指針、製品開発等に活用される

シーン3：国民・メディア・省庁・医療機関・学会・企業等、幅広い層にエコチル調査の意義や成果が周知され、エコチル調査やその成果が社会的に認知される

シーン4：成果が国民の健康保護のために役立てられ、個人の行動変容に活用される

## 令和7年度「環境省子ども霞が関見学デー」への出展

### 【開催報告（ダイジェスト）】

- 8月6日～7日、令和7年度「環境省子ども霞が関見学デー」へ『遊んで・学んで 君もエコチル調査博士？！』を出展。
- エコチル調査の研究等に関する内容をクイズやツールを使って体験するプログラム。
- 2日間で300名を超える方々が来場・参加。

（詳細：開催報告） [https://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/2025\\_kids\\_kengaku.html](https://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/2025_kids_kengaku.html)

### 【当日の様子】



データ解析体験



AGEsの測定



クイズラリー

# 令和7年度の広報活動（広報戦略指針に基づく活動展開）

## 第1回エコチル調査全国フォーラムの開催

今わたしたちが生きている環境は、未来のきみにも笑顔を見せてくれるかな？

子どもたちが生きるのは、10年後、50年後、100年後の世界。見ずえるのは、その先の地球。どんな環境を残し、どんな世界を生み出すべきか、今を生きる「未来たち」と一緒に考えます。

**参加無料**

### 第1回エコチル調査全国フォーラム

2025 11.1(土)・2(日) 9:30-17:00

**会場** 伊藤国際学術研究センター・山上会館（東京大学本郷キャンパス内）〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

- 基調講演**  
講師 吉野彰氏（旭化成株式会社名誉フェロー）  
ご自身の視点からエコチル調査への期待について講演いただきます。
- エコチル調査学術シンポジウム**  
エコチル調査に関連する種々の研究者の方々にご講演いただきます。
- エコチル調査研究発表会**  
小・中・高校生が環境と健康についての学習や研究の成果を学術大会のスタイルで発表します。
- エコチル調査書道展**  
エコチル調査に関連する書道作品を展示します。書道家による書道作品の展示も行います。
- エコチル調査短歌展**  
エコチル調査をテーマにした短歌作品を展示します。
- かるた大会** **当日参加OK**  
・エコチル調査かるた大会  
・小倉百人一首競技かるた大会※/かるた教室  
※申込：10月31日～9月4日

**来場の方、各種応募の方ともに参加登録をお願いします！**

右記の二次元QRコードから公式WEBサイトの参加登録フォームに進み、必要事項を記入の上、お申し込みください。  
来場申込締切日10月31日（金）です。

登録種別	申込期間	作品必要
普通展	9月5日(金)～9月10日(金)	9月10日(金)作品必要
短期展	9月11日(土)～9月11日(土)	9月11日(土)作品必要
競技かるた参加	9月11日(土)～9月11日(土)	9月11日(土)作品必要
オリジナルかるた	9月11日(土)～9月11日(土)	9月11日(土)オリジナル作品必要
研究発表	9月11日(土)～9月11日(土)	9月11日(土)作品必要

**エコチル調査とは**

正式名称は「子どもの健康と環境に関する全国調査」。2011年に環境省が始めた大規模な国家プロジェクトです。約10万組の親子のみならずご協力のもと、環境中の化学物質が子どもの健康にどのように影響するのかわかるとし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境を作るために実施しています。

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を践行しています。

主催：環境省 後援：子ども環境庁 文部科学省 協力：(一財)日本看護協会 (一社)現代学人協会 (一社)全日本からた協会  
問合せ・送付先：エコチル調査全国フォーラム運営事務局(株式会社PCO内)  
〒930-0004 富山県富山市坂後通り2番25号 E-mail: eco-child@pcogapan.jp TEL: 076-461-7028

### 【開催報告（ダイジェスト）】

- 令和7年11月1日～2日、第1回エコチル調査全国フォーラムを東京大学本郷キャンパスにて開催。
- 旭化成（株）**吉野彰氏の基調講演**をはじめ、エコチル調査研究者による学術シンポジウム、小・中・高校生の研究発表、エコチル調査をテーマとした書道展・短歌展、競技かるた大会、オリジナルかるた大会など、多彩なプログラムを2日間にわたり実施。
- 書道展等**2,400件**を超える応募があり、当日は、子どもから大人まで、**1,200人**を超える方々にご参加いただきました。また、エコチル調査オリジナルかるた大会や、小倉百人一首競技かるた大会も実施され、多くの来場者に楽しんでいただきました。
- 詳細はフォーラム公式HPの開催レポート、参考資料4の、全国フォーラム記録集をご覧ください。

[https://smartconf.jp/content/eco\\_child/report](https://smartconf.jp/content/eco_child/report)

※ 当日の様子を収めた動画が環境省Youtubeで公開されています。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL9Gx55DGS7x6yKKb96NZGo0XmEJ73MMJ0>

**エコチル調査書道展**  
入賞作品は会場で展示するほか、公式サイトでオンライン展示も行います。

**小倉百人一首競技かるた大会**  
個人戦・団体戦を行います。また、エコチルかるた教室も開催します。

**エコチル調査短歌展**  
エコチル調査をテーマに募集した短歌を展示。選ばれた短歌は来年「十六人一首競技かるた大会」で使用されます。※順次、短歌を増やし、令和13年度の「エコチル調査百人一首」完成をめざします。

**エコチル調査かるた大会**  
エコチル調査にちなみオリジナルかるたを募集。完成したから大会を開催します。

**エコチル調査かるた展**  
みなさんからご応募いただいたオリジナルかるたの中から、上位に選ばれた力作を会場で展示します。

**エコチル調査研究発表**  
「環境と健康」をテーマに、本格的な学会スタイルで研究成果の発表を行います。(口頭発表 14 演題 ポスター発表 38 演題)

※メディアでも紹介。

子どもが育つ環境と健康との関連を調べた研究成果伝える催し | NHKニュース | URL:<https://news.web.nhk/newsweb/na/na-k10014965971000>

# 令和7年度の広報活動（広報戦略指針に基づく活動展開）

## 【第1回全国フォーラム 当日の様子】



学術シンポジウム



研究発表会



小倉百人一首競技かるた大会



書道展



短歌展



エコチル調査オリジナルかるた大会

## 令和7年度の広報活動（広報戦略指針に基づく活動展開）

### 【第1回全国フォーラムのアンケート解析から得られた結果】

○第1回エコチル調査全国フォーラムでは、**調査を知らなかった参加者が非常に多く、特に10代が最多**であり、前回のシンポジウムは調査参加者や保護者、関係者が中心だったことを踏まえると、今回はイベント目的で**小学生から高校生まで幅広く参加し、国民への周知を図る多種多様な企画の効果**が現れたと考えられる。

○参加者の居住地は東京が約45%と最多で、**他県からの参加も多く、交通利便性の高い東京開催のメリット**が認められた。

○情報入手経路は公式ホームページ、関連団体、知人友人からが多く、**公式HPの閲覧性の高さ及び関連団体を経由した告知が効果的**であったと推察される。

○次回も参加したいとの回答は約80%に達し、**調査を知らなかった層が多かったにもかかわらず満足度が高かった**ことが示された。

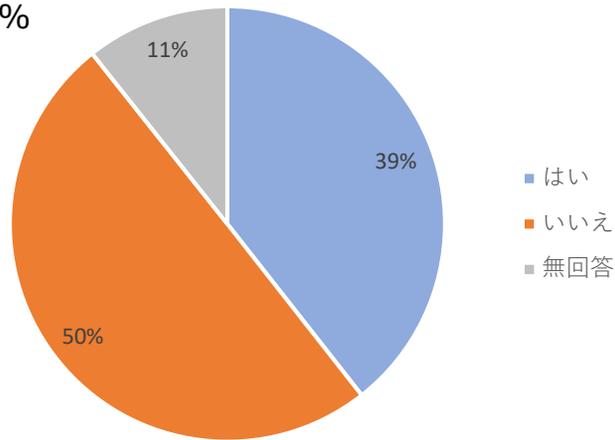
項目	エコチル調査全国フォーラム（第1回）	エコチル調査シンポジウム（第14回）
エコチル調査を知らなかった参加者割合	50%	10%
最多参加者年代	10代	40代
参加者の地域（都道府県）	東京都45% （他30都道府県）	大阪、山梨で60% （他11都道府県。大部分がUCのある都道府県）
エコチル調査HP及びUCからの連絡で知った割合	18% （関連団体、知人友人から40%以上）	50%以上 （知人友人からは5%以下）
次回も参加したいか？	はい 80%	はい 73%

※ エコチル調査全国フォーラムは、上3項目は、参加申込（オンライン）時の登録内容を集計。回答数571。下2項目は、当日アンケート（オンライン）を集計。回答数98。  
エコチル調査シンポジウムは、全項目、当日アンケート（紙）を集計。回答数61。

## 【第1回全国フォーラムのアンケート解析】

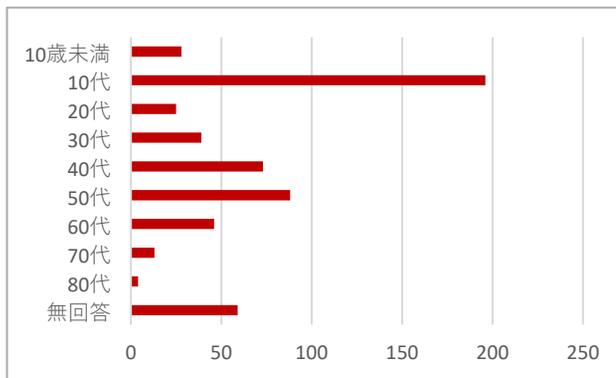
エコチル調査を知っていましたか？

はい 39%  
いいえ 50%  
無回答 11%



年代をお教えてください。

10歳未満 28  
10代 196  
20代 25  
30代 39  
40代 73  
50代 88  
60代 46  
70代 13  
80代 4  
無回答 59

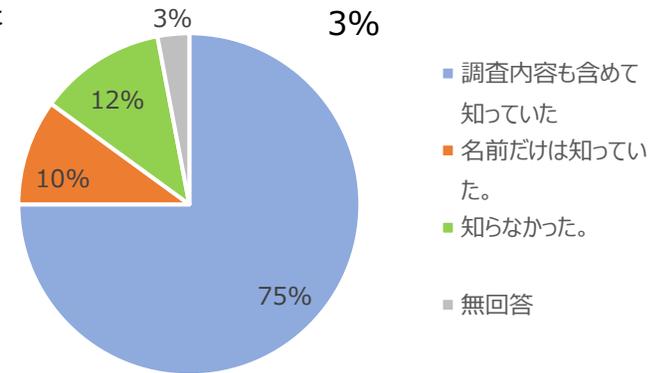


※ 参加申込（オンライン）時の登録内容を集計。回答数571。

（参考）第14回エコチル調査シンポジウムでの回答

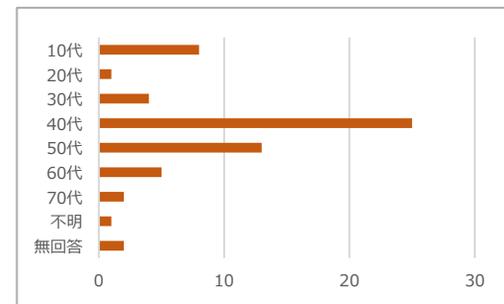
エコチル調査を知っていましたか？

調査内容も含めて知っていた 75%  
名前だけは知っていた 10%  
知らなかった 12%  
無回答 3%



年代をお教えてください。

10代 8  
20代 1  
30代 4  
40代 25  
50代 13  
60代 5  
70代 2  
不明 1  
無回答 2

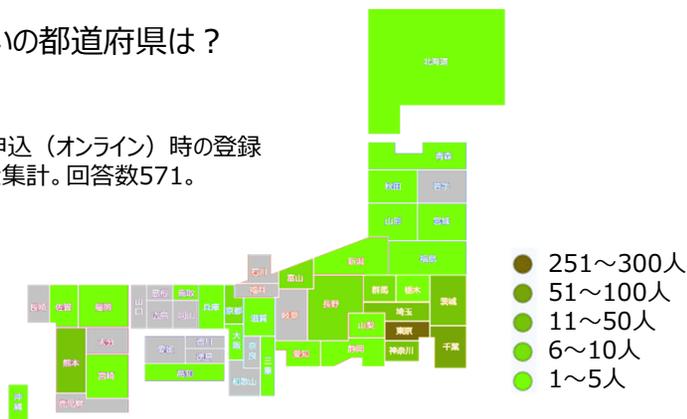


※ 当日アンケート（紙）を集計。回答数61。

## 【第1回全国フォーラムのアンケート解析】

お住まいの都道府県は？

※ 参加申込（オンライン）時の登録内容を集計。回答数571。



このイベントをどこで知りましたか？

エコチル調査全国フォーラムHP	28
エコチル調査ホームページ（環境省）	14
エコチル調査メールマガジン	6
環境省関連媒体（報道発表など）	8
その他Webサイトおよびメールマガジン	3
ユニットセンターからの案内	12
日本書道美術院からの案内	10
SNS（Facebook、Instagram、X）	7
ポスター、チラシ（学校や学習施設）	2
ポスター、チラシ（公共施設等）	1
友人・知人から	29
家族・親族から	9
新聞	0
雑誌	0
その他	15

※当日アンケート（オンライン）を集計。回答数98。複数回答。

（参考）第14回エコチル調査シンポジウムでの回答  
お住まいの都道府県は？

※ 当日アンケート（紙）を集計。  
回答数61。



このイベントをどこで知りましたか？

エコチル調査ホームページ	15
エコチル調査メールマガジン	2
環境省関連媒体（報道発表、Xなど）	4
その他Webサイトおよびメールマガジン	1
ユニットセンターからの案内	17
SNS	3
ポスター、チラシ	4
友人・知人から	2
家族・親族から	4
新聞	4
雑誌	4
その他	9

※当日アンケート（紙）を集計。回答数61。複数回答。

## 成果の情報発信

### ■ ホームページ等による情報提供（随時）

- エコチル調査の論文を一般向けにわかりやすく伝えるため、平成30年6月から和文抄録付きの成果発表一覧を掲載、随時更新。
- 中心仮説に関する論文の報道発表は、一覧に掲載する際、新着情報としてトップページにも掲載。
- イベントの動画や資料、対話事業の資料を掲載。

### ■ 論文報道発表の公表（随時）

- 中心仮説に関する論文発表時に、大学や国立環境研究所が報道発表し、環境省のホームページでもお知らせ。
- 正確な情報伝達のため、平成30年度に戦略広報委員会で報道発表のプロセスと資料の様式、チェックリストを作成し、関係者に周知して運用（実態にあわせて更新）。

### ■ パンフレット等の配布（随時）

- エコチル調査の概要を解説した全国版パンフレット、エコチル調査の成果紹介パンフレットを随時配布（配布先：展示会、学会、研究会、企業の環境関連協議会、スーパーサイエンスハイスクールや自治体・教育委員会等）。

成果発表の発信例

<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/publications.html>

No.	論文	著者	掲載日
524	突発性発疹発症時期と熱性けいけんの関係	Hisao Okabe, et al.	PLOS ONE 8;20(3) + PubMed
523	母親が子どもと一緒に過ごす時のデジタルメディア使用時	Yuka Ogata, et al.	Scientific Data Mar 24

エコチル調査の論文を一般向けにわかりやすく伝えるため、平成30年6月から和文抄録付きの成果発表一覧を掲載、随時更新。

イベントの発信例

[https://smartconf.jp/content/eco\\_child/](https://smartconf.jp/content/eco_child/)

第1回エコチル調査全国フォーラム開催レポート

2025年11月2日（金）～11月23日（日）東京大学東郷キャンパスを会場に、第1回エコチル調査全国フォーラムを開催いたしました。当日の開催の様子を写真などでご紹介いたします。

研究発表一覧

学術シンポジウム・ランチョンセミナー

子どもたちの健やかな成長のための「エコチル調査」子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）結果報告パンフレット

3.3 妊婦さん・赤ちゃんの健康と適切な化学物質

妊婦さん・赤ちゃんの健康と適切な化学物質

妊婦さん・赤ちゃんの健康と適切な化学物質

←成果紹介パンフレットの例

<https://www.env.go.jp/content/000215015.pdf>

## その他の広報活動等

### 2025年11月委員会以降の追記内容

#### ■ 動画配信（エコチル調査へのメッセージ）

- 島津製作所の田中耕一さん（株式会社島津製作所 田中耕一記念質量分析研究所 所長、2002年ノーベル化学賞受賞）から、エコチル調査への動画メッセージをいただく。
- YouTubeの環境省動画チャンネルで配信（2025年10月～：2月18日時点821回視聴）。
- <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/about/promotion/movie.html>



#### ■ エコチル調査サポーター制度の運用・メールマガジン配信

- 第1回エコチル調査全国フォーラムにてご協力いただいた方々に、サポーター代表就任を依頼。  
**佐竹美希氏（基調講演等司会 就任了承）、全日本かるた協会 および日本書道美術院（調整中）（2月18日時点）**
- 調査に対する社会全体の理解と応援を得る目的で、サポーター登録制度を設け、登録していただいた方には最新情報を掲載したメールマガジンを配信。
- 令和8年2月18日現在、サポーター数は約3,585人、メールマガジンは通算124号。

#### ■ エコチル調査SNSの開設・運用(Facebook、X)

- Facebook、Xのエコチル調査公式アカウントを1月に開設、運用スタート。
- エコチル調査の進捗（基本計画改定等）、成果発表、委員会、イベント案内や開催報告記事等を発信する。**（2月18日時点投稿数 Facebook11回、X13回）**
- 環境省・エコチル調査関係者・関係機関SNS、メルマガ、HPなど関連メディアと連携（リポストなど）

## その他の広報活動等

2025年11月委員会以降の追記内容

### ■ 科学館等における展示物（ケミカルパズル等）の活用

- 調査の認知度向上と内容理解促進を目的に、全国の科学館に貸出。  
今年度は7月から3月までほぼ切れ間なく5つの科学館から申し込み  
富山県立イタイタイ病資料館（富山市）、向井千秋記念子ども科学館（館林市）、IMAGINUS（東京都杉並区）、  
日立シビックセンター科学館（日立市）、川口ダム自然エネルギーミュージアム（徳島県那賀郡）
- エコチル調査関係者及び自治体等へ展示物の貸出。  
伊丹市「2025 アースデイいたみ」（2025/5/31@スワンホール）  
環境省子ども霞が関見学デー（2025/8/6～8/7@霞が関）  
東京都「Tokyo Mirai Park」（2026/1/16～4/30@日本科学未来館）



## その他の広報活動等

2025年11月委員会以降の追記内容

### ■ 外部との連携（関係省庁、学会、研究者等）

- 成果に係る報道発表等の情報を関係行政機関、関連学会に情報共有。
  - ◆ 関係行政機関：  
内閣府、消費者庁、こども家庭庁、文部科学省、スポーツ庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省内
  - ◆ 関係学会：  
(公社)日本産科婦人科学会、(公社)日本産婦人科医会、(公社)日本小児科学会、(公社)日本小児保健協会、  
(公社)日本小児科医会、(一社)日本小児期外科系関連学会協議会、(一社)日本学校保健学会
- エコチル調査に関連する様々な業種の企業にエコチル調査の概要説明を行うとともにエコチル調査との連携等について意見交換を実施
- 大学等の授業における講演（7月・1月信州大学、10月群馬大学）

### ■ リスクコミュニケーション研修

- エコチル調査ユニットセンターの担当者を対象としたリスクコミュニケーション研修を開催

2月4日（水）13:00～17:45

当日参加者：48名

概要：講義と演習（現役記者による模擬記者説明会）を通じて、論文成果の情報発信に関わるリスクコミュニケーションの基礎的な考え方を学び、報道発表資料やQ&Aの作成、メディア対応の実践的スキルを習得した。

### ■ 広報活動の効果測定（新聞、Web等の記事モニタリング、SNS投稿に関する情報収集分析）

- エコチル調査に関する報道（新聞、Web等）のモニタリング及び分析、エコチル調査のSNS投稿に関する情報収集・分析

記事モニタリング結果：新聞記事85件、Web記事457件（2025年4月1日～2026年2月6日時点で把握）

新聞記事のうち約9割は研究内容・成果関連、Web記事のうち約4割は全国フォーラム関連

## サポーター制度を改定し運用

【制度のねらい】 エコチル調査のより効果的・効率的な推進に資するよう、一般市民、研究者、有識者、企業・団体等の応援・協力を得る。

### エコチル調査サポーター

サポーター代表から  
名称変更

アンバサダー



個人サポーター



再開

企業・団体サポーター

新規

エコチル調査隊

< 概要（選定/登録方法、対象、期待されること） >

- 環境省から、趣旨にふさわしい様々な分野の方に依頼。
- 調査参加者、科学・医学等の未来を担う中学生・高校生、または広く国民に向けてエコチル調査に関連するメッセージをいただく。
- エコチル調査に対するメッセージを発信していただく。
- エコチル調査のメディアにおける露出度を高め、情報を拡散していただけることも期待。

- エコチル調査ホームページから登録可能。メールマガジンを配信。
- エコチル調査に関心のある国民どなたでも対象。
- メールマガジンを通じて、エコチル調査の進捗・意義・成果等について理解を深めていただく。またエコチル調査に関する会議やイベント、SNS開設等のお知らせにより、参加、フォロー・拡散を期待。

- エコチル調査ホームページから応募を想定。メールマガジンを配信。
- エコチル調査に関心のある・応援していただける企業・団体が対象。
- 全国フォーラム等イベントの情報拡散、参加協力を期待。
- 登録いただいた連絡先に企業向け情報提供・協力依頼などをさせていただきます。

- エコチル調査ホームページから応募を想定。メールマガジンを配信。
- エコチル調査に積極的に参加したい小学生、中学生、高校生、大学生等が対象。
- 情報を受け取るだけでなく、能動的にエコチル調査に関わっていただく。  
（（例）調査に関するアンケートやヒアリング、イベントへの協力、調査研究に関する体験など）
- 将来調査の運営や研究に携わってくれるきっかけになることも期待。

## 第2回エコチル調査全国フォーラムの開催について（予告ちらし）

（注意）現時点での想定です。予告なく変更する可能性があります。

### 第2回 エコチル調査 全国フォーラム

**日時** 2026年 12月5日(土)～6日(日)（予定）

**会場** 東京大学本郷キャンパス内  
伊藤国際学術研究センター／山上会館（予定）

参加  
無料

**ノーベル化学賞 北川進先生による基調講演！**  
2025年にノーベル化学賞を受賞された  
京都大学 特別教授 北川 進 先生に  
ご講演いただきます ✨🌈🌟

**主なプログラム(予定)**

**ノーベル化学賞 北川進先生による  
基調講演** ✨  
〈講演タイトル〉  
「空気を原料にする化学」が拓く未来  
—空にして満つ：科学の根は深く、  
芽は未来に向かう—

**北川進先生との座談会** ✨  
北川進先生とティスカッションできる座談  
会も予定！  
先着30名様限定です！！

**エコチル調査とは**  
正式名称は「子どもの健康と環境に関する全国調査」。2010年度に環境省が始めた大規模な  
国家プロジェクトです。約10万組の親子のみならずご協力のもと、環境中の化学物質が子ども  
の健康にどのように影響するのかが明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境を作るた  
めに実施しています。

**エコチル調査研究発表会**  
本格的な学会形式です。  
口頭発表・ポスター発表があるよ！  
**エコチル調査オリジナルかるた**  
今回も作ります！  
読札・絵札、募集します。

**エコチル調査書道展・短歌展**  
エコチル調査をテーマにした作品展を今回  
も実施します。

**エコチル調査かるた大会**  
エコチル調査オリジナルかるた大会、  
小倉百人一首競技かるた大会、  
エコチル調査十二人一首かるた大会を開催  
するよ！

Ver.20260219

エコチル調査全国フォーラム案内は、  
エコチル調査ホームページから。  
右の二次元コードよりアクセスできます。



開催詳細・各種イベントの募集要項の案内は、  
5月ごろ、フォーラム事務局開設後のホームページで！

### エコチル調査オリジナルかるた

今回も読札・絵札、大募集☆  
だれでも応募可。たくさんの応募、お待ちしております！  
10月頭ぐらいに応募締め切ります。

### エコチル調査書道展・短歌展

エコチル調査をテーマにした書道作品、短歌作品  
を募集します。  
9月頭ぐらいに応募締め切ります。

### エコチル調査かるた大会

☆**エコチル調査オリジナルかるた大会**  
当日、だれでも参加できます。  
1位になると、オリジナルかるたがもらえるよ。

☆**小倉百人一首競技かるた大会**  
1日目が個人戦、2日目が団体戦です。  
今回も、和装部門、あります！

☆**エコチル調査十二人一首かるた大会**  
第1回全国フォーラムで上位入選したエコチル調査短歌  
を使っての十二人一首かるた大会を実施します！

### エコチル調査研究発表会

本格的な学会形式で、口頭発表・ポスター発表  
があります。  
小・中・高校生が発表できるよ。

いずれのイベントでも、優秀な作品・発表・選手には、  
賞状・副賞がもらえるよ。

本チラシについての問い合わせ：

環境省 大臣官房 環境保健部 化学物質安全課 環境リスク評価室 市村・渡邊  
E-mail: ECO-CHILD ■ env.go.jp （※ ■は@へ変換してください）

なお、詳細については、運営事務局が発足してから回答します。（5月の予定）

（注意）現時点での想定です。詳細は、順次HPにアップします。予告なく変更する可能性があります。